

明石市コミュニティバス(たこバス)の 運行について

— 報告内容 —

1. たこバス運行の経緯
2. たこバスの運行状況（令和3年度実績）
3. 新型コロナウイルス感染症による影響
4. 乗車アンケート調査の実施

1. たこバス運行の経緯

2. たこバスの運行状況（令和3年度実績）

3. 新型コロナウイルス感染症による影響

4. 乗車アンケート調査の実施

1. たこバス運行の経緯

年	月	内容
H16	11	交通不便地域の縮減や移動制約者の移動手段の確保等を目指し、社会実験運行を開始【2ルート】
H18	4	本格運行を開始【3ルート】
H19	5	明石市総合交通計画を策定（交通ネットワークを構築する交通手段として位置付け、見直し基準の設定）
	11	路線拡大運行（目標利用者100万人/年）【17ルート】
H21	3	利用が低迷していた1ルートを廃止【16ルート】
H25	3	明石市総合交通計画 改定（「コミュニティバスの展開方針」を定め、それに則ってPDCAを実行）
H26	3	初の年間利用者100万人達成（以後、R1まで継続して目標達成）
	4	利用が低迷していた2ルートを1ルートに縮小【15ルート】
H31	4	寿優待制度の拡充
R2	3	年間利用者 約128万人（過去最高を更新）
R3	3	年間利用者 約 98万人（コロナ禍を受けて大幅な減少）
R4	3	累計利用者 1,500万人を達成 ▶▶▶（次頁参考） 年間利用者 約106万人（前年度比108%まで回復）

(参考)たこバス利用者数の変遷

年度(期間)	利用者	累計利用者
H16.11~H18.3 (社会実験運行)	315,778	315,778
H18.4~H19.11 (本格運行)	567,139	882,917
H19.11~H21.3 (拡大運行開始)	931,466	1,814,383
H21	782,422	2,596,805
H22	867,412	3,464,217
H23	919,859	4,384,076
H24	971,742	5,355,818
H25	1,019,993	6,375,811
H26	1,002,136	7,377,947
H27	1,038,276	8,416,223
H28	1,063,415	9,479,638
H29	1,093,605	10,573,243
H30	1,117,200	11,690,443
R1	1,277,827	12,968,270
R2	983,155	13,951,425
R3	1,062,476	15,013,901

50万人達成

100万人達成

500万人達成

1,000万人達成

1,500万人達成

令和4年3月28日(二見ルート)



たこバス乗客数8%増

21年度、前年比 15ルート利用累計1500万人突破

明石市のミニシティバス「たこバス」乗客数が021年度、延べ106万人と、前年比8%増えた。新型コロナウイルス流行前の水準には届かないものの「コクチ」接種が進んだこととあって利用が戻りつつある(市都市総務課)と分析している。(長尾亮太)

路線バスがほとんどなかった市西部で、高齢者や障害者の足を確保するため、04年に運行を開始。一部ルートの廃止や見直しを経て現在の15ルートある。神姫バス(姫路で明正キブ(神戸市西区、ルミスタクシー(明市魚住西園))の3社運行し、赤字分は市が全額補填している。運行開始以来、ルートが一つ減った14年度を除いては、花束を贈った。見守り員の中野美代(56)は「自毛から千鳥髪まで、は違いで、JRを使う時にはたこバスが欠かせない。今後もっと走らせてほしい」と話した。市は効率性を高めるため、運行見直しを進めている。運賃収入を運行経費を前倒した取寄せによって、一般のたこバスルートで50%、小型車両で走るバス(ミニ)のルートで20%を前倒し込むと、見守り員がなくなる。担当者は「たこバスを存続させるため、地域の皆さまにぜひ乗ってほしい」と話している。

乗客数は増えれば、70歳以上を無料にした10年度は、過去最多の174万5千人を記録した。20年度はコロナ禍で98万3千1人まで落ち込んだ。21年度は15ルートのうち13ルートで乗客数が前年を上回った。伸び率が最大だったのは、西井井島ルートで、14年度以降、いずれも14%増えた。一方、金井橋ルートは、9%減、鶴が丘ルートでは5%減だった。先月28日に乗客数が累計50万人に達し、JR土庫前駅で実行された。R1土庫前駅で実行された。R1土庫前駅で実行された。

(参考)
R4.4.9 神戸新聞

1. たこバス運行の経緯

2. たこバスの運行状況（令和3年度実績）

3. 新型コロナウイルス感染症による影響

4. 乗車アンケート調査の実施

2. たこバスの運行状況(令和3年度実績)

利用者数の動向

コロナ禍を受け利用者数が大きく減少したR2年度(983千人)と比較すると回復傾向が見られるものの、コロナ禍以前の水準と比べると依然として厳しい状況が続いています。

- ▷ 年間合計利用者数：1,062,476人 (R2比：+ 79,321人 ⇒ 108%)
(R1比：▲215,351人 ⇒ 83%)
- ▷ 日あたり利用者数：2,911人 (R2比：+217人 / R1比：▲580人)

運行収入／経費／補助金

- ▷ 利用者数の回復傾向に伴い、運行収入は微増しています。
- ▷ 一方、運行事業者の再選定(R2.9月)により、R3年度から運行経費の見直しを行った結果、運行経費が大幅に増加しました。
- ▷ その結果、運行補助金は約2億5千万円まで増額しています。

	①令和2年度	②令和3年度	増減 (②-①)	増減率 (②/①-1)
利用者数(人/年)	983,155	1,062,476	79,321	8.1%
運行経費(千円)	266,187	315,031	48,843	18.3%
運行収入(千円)	61,660	63,654	1,994	3.2%
運行補助金(千円)	204,528	251,377	46,849	22.9%

※四捨五入により、一部誤差あり。

2. たこバスの運行状況(令和3年度実績)

▷ R2年度とR3年度の利用者数等の比較

ルート名		運行事業者	利用者数 (人/年)			利用者数 (人/日)			利用者数 (人/便)			収支率 【みなし値】 (%)		
			R2	R3	伸び率	R2	R3	R3-R2	R2	R3	R3-R2	R2	R3	
T a c o バ ス	①	西明石北	神姫バス	69,884	78,513	1.12	191	215	24	13.1	14.0	1.0	43.5%	40.4%
	②	西明石南		83,898	91,380	1.09	230	250	20	15.7	17.9	2.2	34.0%	31.3%
	⑤	谷八木		78,989	82,306	1.04	216	225	9	14.8	15.4	0.6	43.6%	36.8%
	⑥	江井ヶ島		102,252	105,972	1.04	280	290	10	19.1	19.8	0.7	50.3%	42.2%
	⑦	西江井ヶ島	明正キャブ	76,661	87,897	1.15	210	241	31	14.0	16.1	2.1	41.9%	49.1%
	⑩	青葉台		80,296	88,607	1.10	220	243	23	12.9	14.3	1.3	60.9%	62.9%
	⑪	清水		70,581	77,741	1.10	193	213	20	13.8	15.2	1.4	75.8%	78.2%
	⑫	西岡東		85,883	96,747	1.13	235	265	30	16.0	18.5	2.5	30.3%	32.0%
	⑮	二見	ルミナスタクシー	85,242	91,551	1.07	234	251	17	13.0	13.9	1.0	33.5%	36.4%
T a c o バ ス ミ ニ	③	松陰	明正キャブ	38,682	43,996	1.14	106	121	15	7.2	8.2	1.0	25.7%	23.4%
	④	大久保南		57,654	61,361	1.06	158	168	10	10.8	11.5	0.7	51.1%	43.4%
	⑧	金ヶ崎		42,405	42,191	0.99	116	116	0	7.9	7.9	0.0	39.5%	30.9%
	⑨	錦が丘		47,349	45,183	0.95	130	124	-6	8.8	8.4	-0.4	33.7%	25.3%
	⑬	西岡西	ルミナスタクシー	28,298	29,626	1.05	78	81	3	5.3	5.5	0.2	26.6%	23.1%
	⑭	清水西		35,081	39,405	1.12	96	108	12	6.6	7.4	0.8	19.8%	18.5%
小計(Taccoバス)			733,686	800,714	1.09	2,010	2,194	184	14.6	16.0	1.4	42.2%	41.4%	
小計(Taccoバスミニ)			249,469	261,762	1.05	683	717	34	7.8	8.2	0.4	31.4%	26.6%	
合 計			983,155	1,062,476	1.08	2,694	2,911	217	11.9	12.9	1.0	38.8%	36.4%	
合計値の差(R3-R2)			79,321人/年増			217.人/日増			1.人/便増			2.5%減		

※収支率【みなし値】:(ルート別年間利用者数×100円÷1.1)÷ルート別運行経費(減価償却費除く)

1. たこバス運行の経緯

2. たこバスの運行状況（令和3年度実績）

3. 新型コロナウイルス感染症による影響

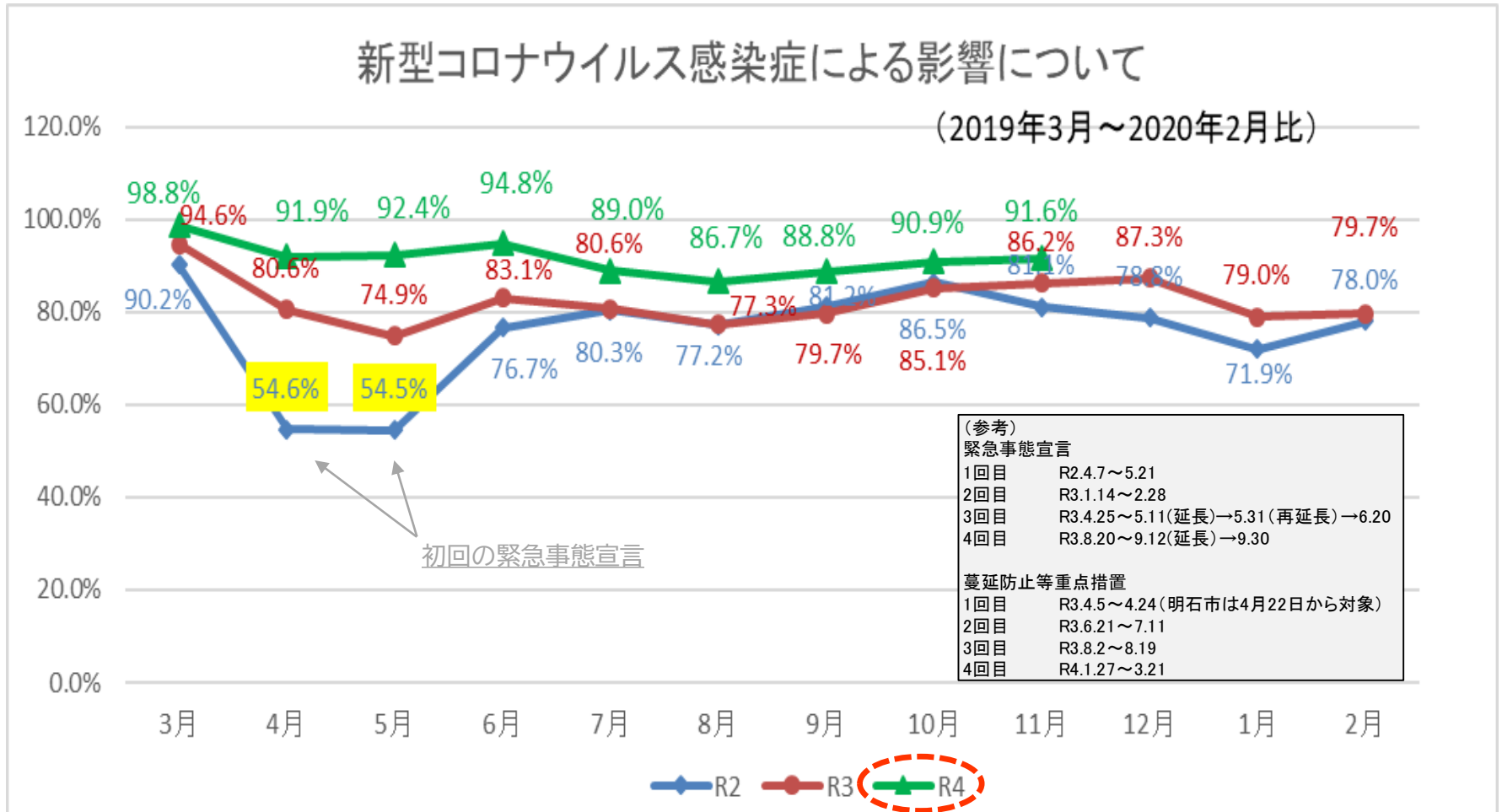
4. 乗車アンケート調査の実施

3. 新型コロナウイルス感染症による影響

コロナ禍以前との比較 (令和4年11月時点)

注1) R1年度を100%とする。

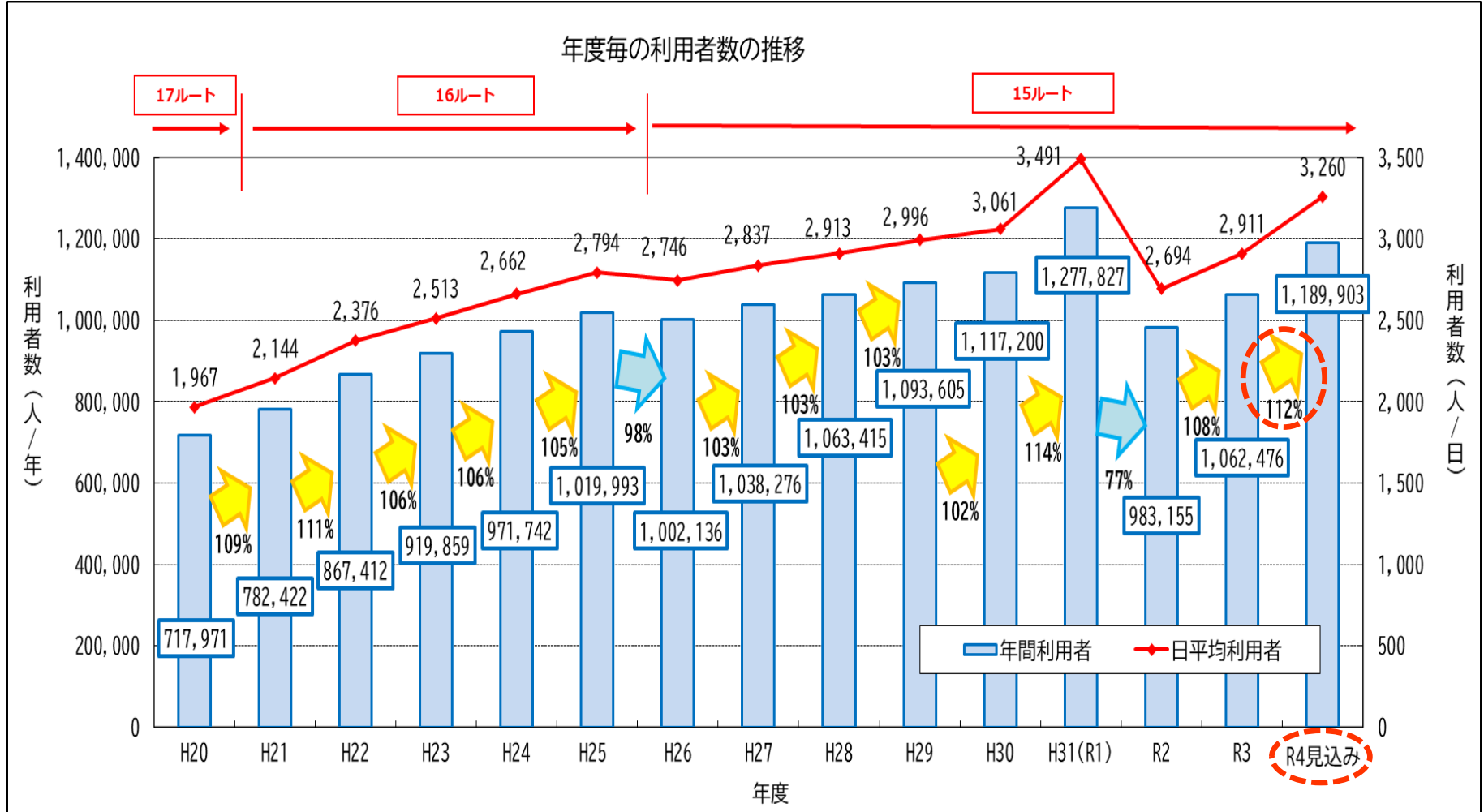
注2) R2年3月/R3年3月/R4年3月は、H30年度(H31年3月)との比較。



3. 新型コロナウイルス感染症による影響

利用者数の推移 (年度ごと)

(※令和4年11月時点の見込み)



1. たこバス運行の経緯
2. たこバスの運行状況（令和3年度実績）
3. 新型コロナウイルス感染症による影響
4. 乗車アンケート調査の実施

4. 乗車アンケート調査の実施

調査の概要

調査日	令和4年6月5日(日)、6月8日(水)	
調査対象	たこバス、たこバスミニの全15路線の利用者	
調査方法	バス車内での直接配布	
配布部数	2,925枚	
回収部数	1,625枚(一部WEB回答)	
回収率	55.5%	
回答者の属性	性別	男性：30%、女性：70%
	職業	主に「無職」、「家事専業」、「会社員・公務員等」、「パート・非常勤」
	年齢	「60歳代以上」が約70%
	自動車保有	「保有していない」が約65%

4. 乗車アンケート調査の実施

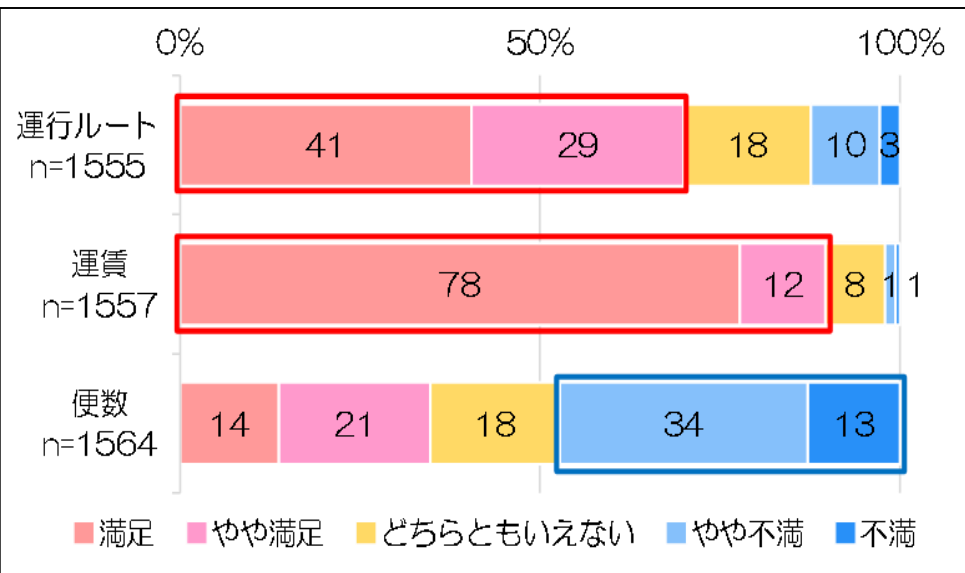
Tacoバス利用の満足度

運行ルートに関しては約70%、運賃に関しては約90%の方が満足と回答しています。一方、運行便数に関しては約47%の方が不満と回答しています。

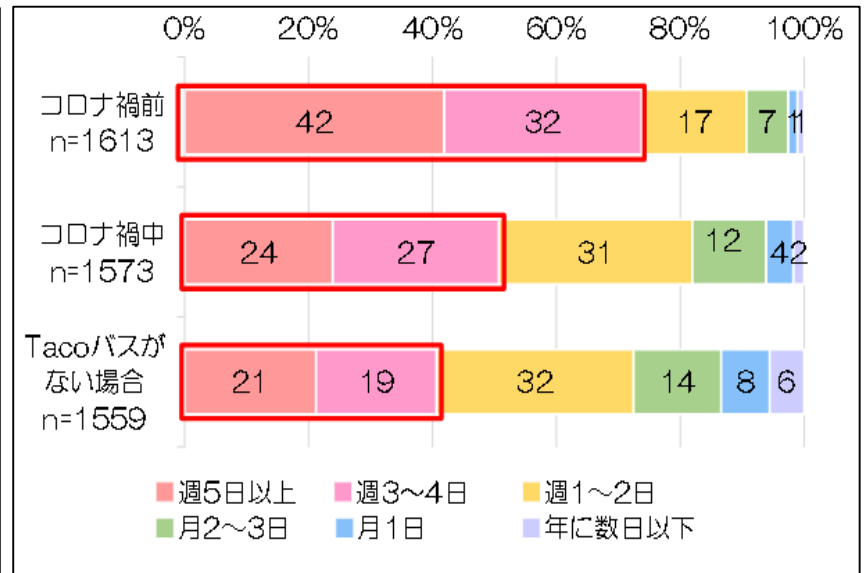
Tacoバス利用と外出頻度

コロナ禍の前後で、週3日以上の外出が「約74%」から「約51%」に減少しており、さらに、もしTacoバスがなかった場合は、週3日以上の外出が「約40%」に減少するとの回答結果から、Tacoバスがあることにより外出頻度が増加していることが分かります。

Tacoバス利用の満足度



Tacoバス利用と外出頻度

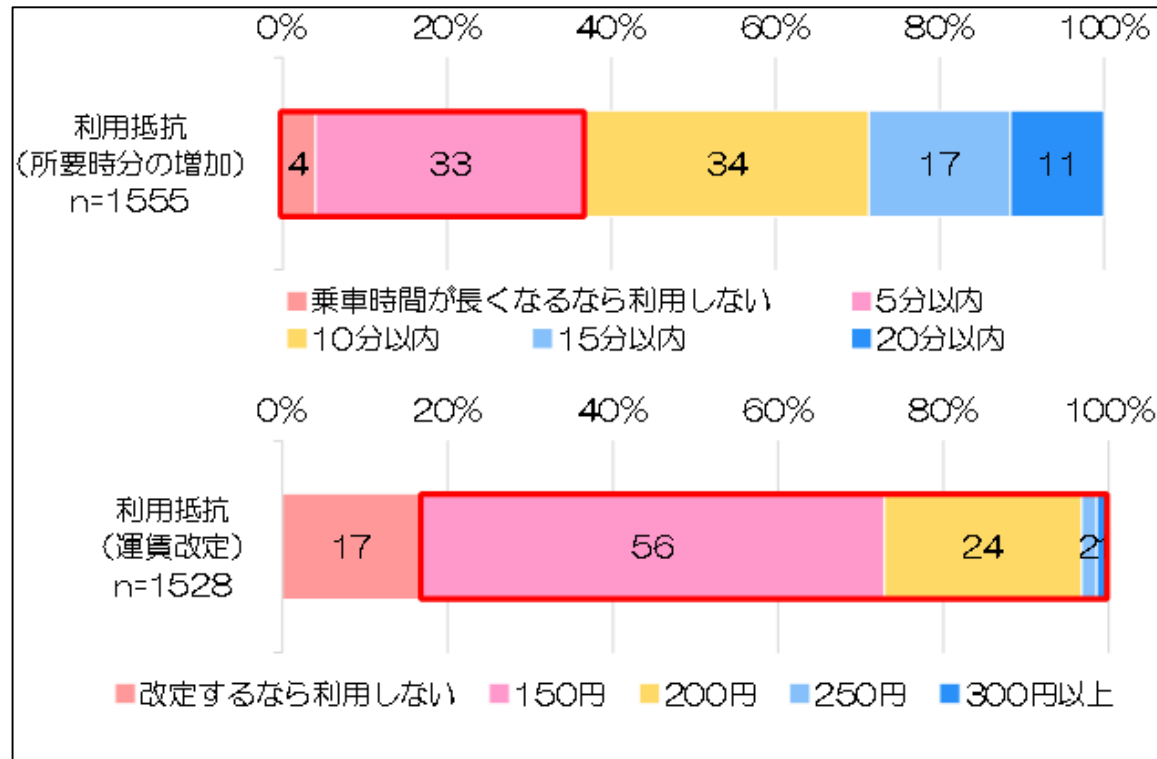


4. 乗車アンケート調査の実施

Tacoバス利用と運行サービス

運行サービスが変更となる場合、所要時分が5分以上増加すると約37%※1が利用しなくなります。運賃に関しては、150円に上がったとしても約83%※2が利用を継続します。

Tacoバス利用と運行サービス



※1：乗車時間が長くなるなら利用しない人が4%、5分以内なら継続して利用する人が33%から、5分以上の増加で約37%の人が利用しなくなる。

※2：運賃が150円になっても利用する人が56%、200円になっても利用する人が24%、250円になっても利用する人が2%、300円以上になっても利用する人が1%から、運賃改定しても約83%の人が利用を継続する。